

「史跡興国寺城跡整備基本計画」(案)に関するパブリック・コメントの結果

「史跡興国寺城跡整備基本計画」(案)についてパブリック・コメントを実施しましたところ、市民の方から貴重なご意見をいただきましたので、その概要と市の考え方について、以下のとおりお示しいたします。

ご意見をいただきました方には深く感謝いたします。

- 1 実施時期：令和7年12月23日(火)～令和8年1月27日(火)
- 2 閲覧場所：沼津市HP、沼津市役所(文化振興課、生活安心課)、文化財センター、市内各市民窓口事務所、沼津市立図書館
- 3 提出者数：3名
- 4 意見数：8件
- 5 提出された意見の概要及び市の考え方

No.	頁	意見の概要	市の考え方・対応	修正の有無
1	第6章 P105、 P116	ご当地柄のカラーマンホールを設置してほしい。加えてマンホールカードも作って現地で配布してほしい。	カラーマンホール及びマンホールカードにつきましては、所管している水道部に情報提供し、今後の取組の参考とさせていただきます。	無
2	第7章 P129	整備計画の局面段階に来ても未だ都市公園設計の全体が曖昧で、歴史公園～都市公園の2段階を踏むようだが、その背景など誤解が生じる。ネーミングは「史跡興国寺城址公園」で先行、やがて「都市公園興国寺城」など変更がそして看板替えが起きるのはあまり感心されない。	「歴史公園」は都市公園の種別の一つであり、歴史公園から都市公園に2段階で変更をするものではなく、あくまでも法令上の位置付けや手続きについて示したものであります。	無
3	第3章 P47	山城ファンの価値認識は興国寺城＝伊勢新九郎の旗揚げの城(砦)である側面が大きい。加えて戦国時代のビッグネーム(今川、武田、織田、秀吉、家康)が興国寺城に深く係わったスルガの国東部の重要な拠点城郭であったことは大きな魅力。そして、天然の要害、土の城が特徴であり、興国寺城の本質的価値は今も変わっていない。 これまで伊勢新九郎の研究で、一部の学者によって新九郎は興国寺城に居	今後も研究が進み、様々な解釈や議論が行われていくものと思われませんが、その成果も参考にしながら整備を進めてまいります。	無

		住した事実は実証できない解釈があるが、今後も一方的な解釈が整備計画の障害とならないよう意識した設計が重要。無用の批判を整備計画に明記しながら、一方的解釈を排除する姿勢の明確化が望まれる（無言は逆効果）。		
4	第6章 P66	興国寺城は「続日本100名城」の一つで訪れる山城ファンは全国から集まる。興国寺城の城郭の魅力は一味異なる大空堀・大土塁・要害地形が大きいといえる。天守台の遺構は中途半端でよくわからない実態であり、復元しても本源的価値には成りえない。興国寺城の復元で投資対効果の評価で考えれば大空堀・大土塁の投資価値は大と考える。整備計画では耐震設計を含んだ堅固な復元が予定されているようだが、歴史的価値と城郭的価値は必ずしも整合的ではなく（例：伊勢新九郎価値の希薄化）合理的にデザインした整備設計が望まれる。伊勢新九郎のイメージをクローズアップしたソフト設計（CG含む）の強調などの工夫も望まれる。	史跡の整備については、史跡をき損から守り遺構を保存するための整備と、その価値を来訪者に知っていただく活用のための整備を両立させる方針としております。 投資価値が高いとのご意見をいただいた大空堀・大土塁のほか、伝天守台の礎石や石垣も、史跡の整備の中心となる箇所と捉えております。 また、来訪者の注目も高いことから、その価値を顕在化できるように整備を進めてまいります。	無
5	第2章 第7章 P129	東部の城郭は葦山城、狩野城、葛山城など特色ある地元のおもてなしがある。興国寺城でも穂見神社の氏子たちによる例大祭が例年、本丸である。浮島地域の観光資源は豊富であり、この文化を活かす行政の支援が必要だ。 また、興国寺城は根古屋にあるが、周囲は愛鷹地区・浮島地区・原地区の3面に接しているため、浮島地区だけでなく興国寺城を中心とした広域的なる街づくり文化づくりが求められる。 また、新九郎を語るに特に重要な城（葛山城（裾野市）や高越城（岡山県井原市）との連携関係を明確に位置付けて関係推進すべきである。	いただいたご意見につきましては、整備の進捗に合わせて関係各所と連携を図りながら、地域資源の有効的な活用を検討するための参考とさせていただきます。	無

		さらに、根方地区は豊富なる湧水の名所として有名なことから、興国寺城と浮島沼の一体関係をより強調すると効果的である。		
6	第4章 P58 第6章 P72, 88, 93	<p>現在の脚場における安全管理体制に大きな不安がある。特に東櫓台の上り下りで大空堀に下りる段差は急崖で危険度が最も高い。真夏はダニ、小動物、蜂類のリスクもあるため、草刈りは必須である。整備計画とは別の優先事項として早急の実施が望まれる。</p> <p>また、クマの出没は富士宮、愛鷹山で確認されており、整備計画に係わらず臨機応変な予防対応が望まれる。</p>	<p>伝天守台周辺の階段については、強固な階段設備は遺構のき損に繋がることから、土塁の保護を適切に行い、強度等を高めたうえで階段整備を行う方針で検討しております。</p> <p>また、草刈りや樹木の伐採、剪定につきましては、現在も継続して行っております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、安全対策や今後の適切な維持管理の参考とさせていただきます。</p>	無
7	該当なし	<p>原駅前地区と興国寺城通りを早期から整備計画に活かす工夫が必要。原駅前地区の景観計画と本件の整備基本計画の連動性が見えていない。興国寺城の絵図にも原宿への古道は存在、かつ侍屋敷など東西に描かれているので根方・浦方街道を結ぶ幹線として城下町の存在さえ想像できる。整備計画には現れて来ないが都市公園構想ならではの広域的、立体的な発想で計画への組み込みを期待する。これによる地元の観光効果は大きいと思料する。</p>	<p>原・浮島地区は歴史文化資産が集中している地域であることから、その周辺環境を含め一体的に保存活用していくことを目指しております。</p> <p>区域全体を観光資源・教育資源と捉え、整備に合せて広域的な活用についても検討していきます。</p>	無
8	該当なし	<p>先人が大事にしてきた歴史的な史跡を次の世代に伝えることの大切さを認識し、広い視点で計画案を立案したため、史跡興国寺城跡整備基本計画（案）の私案を提案する。</p> <p>（以下全 12 ページの要約）</p> <p>【1 伝える】</p> <p>・いかに史跡の「価値」を高め、いかに伝えていけるかが集客の肝と考える。</p> <p>例えば、興国寺城が「早雲旗上げの城」であるというキャッチフレーズを創出</p>	<p>多くの具体的な利活用のアイデアをいただいております、今後の史跡活用の参考とさせていただきます。</p>	無

したり、共通点がある早雲と白隠禅師の2人の人物を結び合わせて観光地として魅力につなげたり、なにかをやり始める「ことはじめ」にご利益があるという価値を示したりなど、史跡の価値を高めて伝えることが重要である。

### 【2 繋がる】

・市長が旗振り役となり、県・県外の関連する市町村や様々なスペシャリストと連携して、興国寺城跡を中心としたまちづくりを視野に計画を立案することを提案する。

・魅力的な観光地づくり、町づくりを行えるよう投資をしていけば、新たな雇用や新規の商業施設、移住者の増加など税収の増加が見込まれる。史跡の価値を上げて、利益を生み出すという商業的な視点から計画を立案することが大事。

・保存・継承活動には地道で継続的な取り組みが必要。まずは、シニアを中心としたガイド等が集える場所を用意し、交流するなかで効果が生まれる。

### 【3 紡ぐ】

・大人・子供ともに学べる学びの場を創出。歴史好きな人が学べる環境を作ったり、コンテスト応募のサポートをしたり、史跡の自由研究コンテストを開催したりするなど、子どもたちが郷土の史跡に関心を示せるよう働きかける。